

# すみれこども園体験棟

山と丸太と伝統と

～長材丸太の山からの調達の高難しさを克服して伝統工法で横架材に活用～



## ■ 建築概要

**所在地** 茨城県笠間市旭町  
**構造・階数** 木造平屋建て  
**事業費** 53,350,000円  
**工期** 令和元年6月～令和2年3月  
**施工者** (株)藤井製材所

**施設用途** こども園  
**延床面積** 168㎡  
**木工事費** 19,434,404円  
**設計者** 鎌田建築アトリエ  
**木材供給者** (株)藤井製材所

## ■ 設置者から一言

この体験棟は、子ども達が自分の発想のもと一日自由に遊びを展開し、夢を描き自己発揮が出来る自由活動の空間として、また、未就園児の皆さんが「すみれ農園」で野菜を作り収穫の喜びを味わったり、保護者の皆様が子育ての悩みを話し合う場として様々な形で利用できる体験型の棟として皆様方にご利用頂くことを目的とした施設です。

多くの皆様が、ほっと一息つけるよう工夫を凝らし、すみれこども園に関わる皆さんに沢山利用していただき、人と関わることや何かに夢中になり行うことを楽しんでもらいたいと願っております。

## ■ 使用した木材や工夫した点

子ども達や保護者が自然の木の魅力を感じる事が出来る丸太組を見せる工法を取り入れました。原木に近い状態のままの丸太は子ども達の目を引くように床から3.2mの高さでダイナミックに組み、製材加工した木材では表現出来ない木の素材感を出すなど、日本の伝統工法の技を伝承したい意図もあります。

室内は、腰と天井に杉の羽目板を使い、木の肌触り、木のぬくもり感を体感できるようにしました。

屋根は、シンプルな切り妻にし、大きな小屋根は烏帽子の様に突出させ木の方杖・束・小屋筋かい等を工夫しました。

建物廻りへ設けた日除け、雨宿りのための屋根を受ける15本の柱も木の素材感を活用しました。

樹種	県産材 使用量	使用部	備考
スギ	21.821 m <sup>3</sup>	内構造材	
ヒノキ	1.712 m <sup>3</sup>	内構造材	
スギ	15.507 m <sup>3</sup>	その他構造材	
ヒノキ	4.472 m <sup>3</sup>	その他構造材	
計	43.512m <sup>3</sup>		